

事業所における自己評価結果表

公表： 2020年 11月

事業所名：放課後等デイサービス マルコ

9名対象 回収率 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2		1人辺りの基準では十分な広さですが、児童の成長と共に狭く感じる。室内外の活動を取り入れながら、十分に体を動かせるよう工夫をしていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	9			利用人数や特性によって職員の人数を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8		1	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			頂いたご意見を参考に業務の内容の検討・見直しを行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		1	年に1回、法人のホームページに結果を掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2	1	検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			研修会の参加（参加した研修は伝達講師）、事業所内勉強会、講師をお招きしての事例検討会等実施している。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		1	時差出勤のためチームで集まって立案はできていない。活動により担当を決め、活動予定表を作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1		曜日によりご利用者が異なるため、活動が重ならないよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1		時差出勤があるので、ボードにその日の流れやノートに申し送り事項を記載し確認できるようにしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	3		疑問や気づいたことや改善点等あれば、随時話し合いを行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9				

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			半年に1回見直しを行っている。毎月支援会議を開催し計画を検討している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	9			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9			必要に応じ行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3	2	必要があれば情報提供等行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	4		必要があれば情報提供等行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9			児童クラブとクリスマスや遠足、クッキング等交流活動を行っている。今年度はコロナウイルスの影響により機会は減っているが、距離をとるなど工夫して参加できるよう検討していきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	9			
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			送迎時に自宅での様子を聞いたり、事業所での様子を伝えるようにしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3		6	ペアレントトレーニングは行っていないが、研修会には参加している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		1	必要な助言と支援のためのスキル向上を図っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9			年に1回保護者会を開催している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			毎月マルコ新聞を発行し、子ども達の様子や連絡等発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	9			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8		1	餅つきや月1回の食堂（キッチン）の日に地域の方の参加を呼びかけたり、施設を地域の方も利用して頂けるようにしている。また、ボランティア等の受け入れを行っている。今年度はコロナウイルスの影響により難しい状況であるが、工夫して取り組めるよう検討していく。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9			訓練は定期的実施している。職員間では周知できているが、保護者には周知しきれていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			定期的実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			研修の参加。また、研修に参加した者による伝達講師を行っている。年に1回虐待防止委員会を開催している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	2		身体拘束を必要とする子どもはいないが、対象とする子どもの利用がある場合は、事前の確認や説明等行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	4		アレルギー等に関して契約時に確認しているが、現時点では医師の指示書に基づく対応が必要なお子さんがいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	2		不適合サービス管理表を作成し共有している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。